平成30年度 学校評価結果

(※ポイントは、4点評価の平均値)

1 評価が高い項目

生徒評価(平均値)	保護者評価(平均値)	教職員自己評価(平均値)
No 1「おはよう」など基本的なあいさつは必ずしている。 (3.7)	No 1 家庭で「おはよう」などあいさつができています。 (3.6)	No 3 学校に来校されたお客様に進んであいさつをしている。 (3.8)
No 3 学校内でお客様(来校者)にもあいさつをしている。 (3.7)	No18 生徒は、生活心得を守り、中学生らしい服装や頭髪を心がけている。 (3.6)	No 1 生徒に「おはようございます」などの基本的なあいさつを率先して行っている。 (3.7)
No 6 自分の掃除場所は時間いっぱいきちんと掃除している。 (3.6)	No21 子どもは、好ましい友人関係があり、楽しく登校している。 (3.6)	No13 いじめや差別のない学校・学級づくりに努めている。 (3.7)

2 評価が低い項目(改善点)

生徒評価(平均値)	保護者評価(平均値)	教職員自己評価(平均値)
No10 学校の教育目標をすべて言える。 (2.5)	No 4 家庭では、自分の身の回りの整理整頓ができています。 (2.6)	No20 地域の方と気軽に話す機会がある。 (2.5)
No19 地域の行事や集まりには必ず参加している。 (2.6)	No 8 学校は、子ども一人一人の能力や理解度に応じた個人指導や補充学習に取り組んでいる。 (2.8)	No12 学校経営方針や教育目標の下で、特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる。 (2.7)
No20 地域の人たちとよく話をしている。 (2.6)	No 7 子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる。 (2.9)	No 8 子ども一人ひとりの能力や理解度に応じた個人指導や補充学習に取り組んでいる。 (2.7)

3 考察

- 「評価が高い項目」は、年間を通して取り組んだ「あいさつ」があった。あいさつについては、地域の方からも高い評価をいただいております、生徒も自信を持ってできたと言えるものである。生徒会の挨拶運動や「ワンストップあいさつ」活動、PTAの10月に行っていた「愛のひとこえ運動」、職員のあいさつ指導がうまくかみ合った結果であると思われ、今後も学校をあげてあいさつが響く学校づくりに取り組んでいく。
- 「いじめ差別のない学校づくり」は生徒評価でも高く、保護者評価での「好ましい友人関係」と合わせて「安心して過ごせる環境づくり」ができていると思われる。今後も「安心・安全な学校づくり」に力を入れていく。また、その基本は、「基本的生活習慣」と考え、生徒への指導、保護者への啓発を進めていく。
- 「地域」との連携は、学校教育目標の達成のためにも不可欠である。学校としての情報発信だけでなく、生徒の地域行事の参加など生徒や職員が地域で顔の見える連携を進めていく。
- 「学力向上」のためには、「個別指導・補充学習」が必要であり、授業と関連した「家庭学習」の充実も不可欠である。評価結果を真摯に受け止め、次年度は「個人指導・補充学習」の充実させ、家庭学習に取り組める基礎を育む。